

説 教

第4アドベント礼拝 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2017年12月24日（日）

主 題：「主の霊がとどまるお方」

－エッセイの根株－

テキスト：イザヤ書11章1－2節

**はじめに**

- ・ 今日、私たちは第4アドベント聖日を迎えました。 **Merry Christmas!**  
皆様とともに、『クリスマス礼拝』を持つことができる幸いに感謝します。
- ・ ここに1冊の本があります。「Eine Familie mit ueber 700 Kindern」（700人以上の子どもを持つ家族）というタイトルです。この本は私の信仰の友である Gerhard Hamm 世界巡回伝道師の家系の“ファミリー・ツリー”が書かれています。彼はかつてのソ連で生まれたロシア系ドイツ人でした。
- ・ 私が Gerhard Hamm 師から、この本をいただいたのは1993年でした。その時点で、祖父 Abraham Hamm（1897年生まれ）から数えて、なんと758人にも子どもたち（子孫）が誕生していました。それからすでに約24年経過しましたから、その人数はかなりの数になっていることと思われます。
- ・ Hamm 師は、ご自分の家系を大変誇りに思っておられました。  
この家系が書かれたファミリー・ツリーは、過去を振り返りまとめたものです。一般的にファミリー・ツリーとは、そういうものですね。  
しかし聖書は、イエス・キリストの不思議な誕生について書かれています。  
それは、先に現れるファミリー・ツリーのことです。預言者イザヤは、紀元前8世紀に次のように語りました。 **イザヤ書**  
**11:1 エッセイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。**
- ・ この聖句はイエスの誕生を預言したものです。3つの特徴があります
  - ① 新芽が生える
  - ② 若枝が出る
  - ③ 実を結ぶ
- ・ そんな大昔に、不思議な預言のもとで誕生したイエス・キリストは、いったいどんなお方でしょうか。 2点学びたいと思います。

**大切なポイント****1. イエス・キリストの誕生****11:1 エッセイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。**

- ・ メシアイエスは、エッセイの根株から生まれるから出ると言われました。  
しばらく前、インドネシアの森林で、日本人が使う「割り箸」のために多くの木が、次から次へ切り倒された姿を写真で見ることがあります。「割り箸」

は一回使用でポイ捨てです。その「割り箸」を作るために切り倒された木が再び成長するには、何十年もの時間が要します。大きな環境問題であり、心を痛めます・・・・。

- ・森林の木々を斧で切り倒していくと、残るのは切り株だけの野原となります。  
⇒それは人間の目から見ると、全く絶望的な状況です（イスラエルの状態）。  
しかし、神は絶望の中から新芽を生えさせる（希望）、預言されました。それが<エッサイの根株>と呼ばれものです。<エッサイ>とは人名です。
- ・イザヤは王家<ダビデの根株>とは言わず、<エッサイの根株>と言いました。イスラエルを代表する王ダビデ（イザヤより約300年前）、とは言いませんでした。ダビデ王はイザヤより約300年前にいた王で、イスラエルを治めた大いなる王でした。しかし、イザヤは当時、無名の人<エッサイ>の名前を挙げました。
- ・では、その<エッサイの根株>とは、何でしょうか？  
マタイ福音書を開くと、イエスの系図がでてきます。<エッサイ>の名は、その系図に出ています。つまり
  - ① <エッサイの根株>とは、イエスが誕生する家計に位置する。  
ここに、イスラエルに約束されたメシヤの出所が明らかにされている。
  - ② <エッサイ>は、ベツレヘムの羊飼いであった（1サムエル16章）。  
イスラエルに約束されたメシヤの誕生地は、ベツレヘムであった。
  - ③ <エッサイの子>という呼び方には、軽蔑の意味が込められていた。  
低い、低い、立場であった。（1サムエル20：27、22：7、8）  
⇒ 正しく王家ではなく、エッサイは低い立場でした 感謝。

### 11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

- ・新芽が生え、若枝が出てくるならば実を結びます。希望があります。しかし、これを受け入れるには、「信仰」が必要です。神は不思議を行われるお方です。人は下（底）にまで落ち、失望を味わうような中でも「希望」を得ることが出来ます。
- ・たとえば、AD70年。エルサレムはローマ軍によって奪われた。それ以降、ユダヤ人は世界各地へ離散しました。しかし神の預言のごとく、彼らは再びエルサレムに戻ってきました。それが1948年のイスラエル建国でした。世界歴史の中で類のない、奇跡が起きました。神は不思議を行われるお方です。
- ・イスラエルの歴史を見てください！ イザヤは、もっと尊いことが起こると預言しました。メシヤが来られるという「希望」です。

## 2. メシアには主の霊がとどまる

11:2 その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

### 1) 主の霊がとどまる

- ・「**その上に、主の霊がとどまる**」とは、神の霊がこのお方の上に注がれることです。このお方は、神の聖い霊に満たされたお方です。神に「油注がれた者」です。イスラエルでは王、祭司、預言者が、その位に着く時は、オリーブ油の「油を注ぐ」儀式がありました。その＜油注がれた者＞とはヘブル語で「マーシーアハ」と言い、そこから「メシヤ」と言う言葉がでました。
- ・イザヤはオリーブ油という物質的な油ではなく、「主の霊」（神の霊）という霊的な油が注がれるメシアを預言しました。それから約700年経過し、イエス・キリストは誕生しました。新約聖書ヨハネ福音書は、次のように語ります。

1:32 またヨハネは証言して言った。「御霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまられるのを私は見ました。

1:34 私はそれを見たのです。それで、この方が神の子であると証言しているのです。」

- ・このようにイエスの上に、御霊が下りにとどまりました。イザヤ預言は正しく成就しました。イザヤは、メシアについて更なる預言をしました。

## 2) メシアの特性

- ・イザヤ書11章2節を読むと、『**主の霊**』の現れは、3方面から表現されています。

### ① 「知恵と悟り」

- ・『知恵』（ヘブル語、ホクマー）の語源は、「さばく」の意味です。物事をさばき、判断するために必要な資性が「知恵」です。たとえば、聖書ではソロモン王は「知恵の人」であったことは知られています。彼がどれほど知恵に富む人であったかは、彼の物事に対する判断、知識に現れていました。

#### 1 列王記

10:1 シバの女王は主の名にかかわるソロモンの名声を聞いたので、難問をもってソロモンを試みようとはせずねてきた。

10:2 彼女は多くの従者を連れ、香料と、たくさんの金と宝石とをらくだに負わせてエルサレムにきた。彼女はソロモンのもとにきて、その心にあることをことごとく彼に告げたが、

10:3 ソロモンはそのすべての問に答えた。王が知らないで彼女に説明のできないことは一つもなかった。

- ・このようにソロモン王の知恵は、想像を超えるほどのものでした。それは上（神）から来る知恵でした。
  - ・「悟り」（ヘブル語でビーナー）は、「分ける」、「区別する」という意味です。ですから物事の真実を見抜くという意味です。『知恵と悟り』はじつに超人的資性です。政治家に、教育者に、実業家に求められるのは、この「知恵と悟り」ではありませんか。
  - \* 主の「知恵と悟り」を求める人は幸いです。

## ② 「はかりごとと能力」

- ・「はかりごと」とは、物事がうまくいくように、前もって考える手段、方法、計画などです。「はかりごと」（ヘブル語でエーツァー）は、「助言者」（9：6）とも訳されています。同義語です。実際、さまざまな行動や、決断が必要なとき、「はかりごと」、つまり計画性と助言者が必要になります。

「能力」（ヘブル語でゲブラー）の語源は、「強い」の意味です。

- ・正しく、人に求められる資性ではないでしょうか。
- \* 「計画性とその力」を求める人は幸いです。

## ③ 「主を知る知識と主を恐れる霊」

- ・主を知る知識とは、単なる知識ではなく、深い人格的な信頼関係を意味します。 詩篇 9:10

「御名を知る者はあなたに抛り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。」

「主を恐れる霊」とは、恐怖心というより、神への信仰、敬虔、畏敬です。

- ・このようにイザヤは、救い主には特性が3方面から臨むと預言した。  
 <エッサイの根株>⇒ それは切り倒された森林の野原に残されたような 切り株にすぎません。 一見、何の価値も見出させないような切り株です。  
 しかし、イザヤは主の霊に満ちて預言しました。  
 11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。  
 これが、神が成されたわざです！ ハレルヤ！
- ・希望のメッセージです！ このお方こそ、今から約2千年前にイスラエルの寒村、ベツレヘムで誕生されたイエス・キリストです。このお方を信じる人は救われます。そして、主から同じように助けをいただき歩む人です。  
 Good News です。

{例 話}

- ・2006年秋、アメリカ合衆国ペンシルバニア州、Lancaster 郊外において、一人の男が銃を持って学校に入り、乱射する事件が起こった。女子児童たちが撃たれ尊い命を奪われ、犯人（Chares Robert）は自害したショッキングなニュースでした。Lancaster 近郊は肥沃な土地に恵まれ、農業や酪農業が盛んだ。そして、Amish People と呼ばれる人々が住み、宗教心の篤い人々が多い。その町に住む私の友人 Mrs. Ruth Power が、事件直後の有様を私に手紙で送ってくれた。
- ・この事件は全米に、大きなニュースとして流れた。その理由のひとつは、子供を殺害した犯人の葬儀に、被害者の Amish の人々が参列したことだ。きっと前代未聞であろう。Mrs. Ruth Powers は、加害者の祖父母をよく知っていた。Amish の人々は、加害者が犯した大きな罪を赦したのだ。このことは新聞やマスコミで広く流され、Amish の人々の「赦し」に全米が感動した。

- 皆さん！ 私たちの社会で「人を赦す」ことほど難しいことはない。  
この学校には、専門のカウンセラーが遠路コロラド州から来て、惨事で心傷ついた子供たちの心理ケアをする手配がなされていた。しかし、やって来たカウンセラーは一様に言った。「我々はこれまで、多くの心傷ついた人々へ心理ケアを行ってきた。しかし、Amishの人々が表した「赦し」は知らない。」Amishの人々の信仰は、過去に留まらず、現在と未来に向って生きるところにある。正しく聖書が教える生き方である。
- Mrs. Ruth Powers は事件後1週間して、加害者の祖父母と子供たちの学校を訪問した。そこには惨事にあった子供たちがいた。その子供たちと保護者は、加害者 (Chares Robert) の両親を温かく迎えたという。子供たちは講堂に集まった。正面には、聖書の言葉が書かれていた。詩篇 56  
56:3 恐れのある日に、私は、あなたに信頼します。  
56:4 神にあって、私はみことばを、ほめたたえます。私は神に信頼し、何も恐れませんが、私に何をなしてまいらう。
- 愛する皆さん。いったい何が、彼らをこのような人に変えたのでしょうか？  
⇒聖書の神です。＜エッサイの根株＞から生まれたメシア（救い主）に、お会いし、この方を信じたからです。先ず彼らは、自分たちの罪がメシア（イエス）によって赦されたことを経験しました。そして、赦された者が、次に人を赦す人に変えられたのです。これは神がなされたことです。
- ＜エッサイの根株＞から生まれたお方（メシヤ）は、イエス・キリストです。イエスは、クリスマスの日、エッサイの出身地ベツレヘムで生まれました。このお方は、「主の霊がとどまるお方」、偉大なお方です。私たちはこのお方を信じるだけで、罪赦されるのです。どうぞ、聖書の神に信頼を置く人は、じつに幸いな人です。

## ま と め

主 題：「主の霊がとどまるお方」

—エッサイの根株—

- 今日第4アドベント、クリスマス・ワーシップである。神の御子イエス・キリストが生まれたクリスマスの前に、このように礼拝を捧げています。BC 8世紀、預言者イザヤは神の霊を受け、救い主（メシヤ）とは、どのようなお方が預言した。
  1. メシアは＜エッサイの根株＞からでる
  2. メシアには主の霊がとどまる
- いかがでしょうか？聖書が語るメシヤこそ、イエス・キリストです。  
あなたが、このイエスを信じるなら、生きる力をいただくことができます。

\* God Bless you!!